

## 01 目的

当社が目指す「共生社会」の実現には、社員が健康でいきいきと活動することが不可欠である。社員が心身ともに健康で、自らの持つパフォーマンスを最大限に発揮し、高い健康リテラシーを持ちながら自身の健康を維持・増進することを目的に、健康経営の推進に取り組んでいる。

## 02 課題・目標

### 健康経営で解決したい経営上の課題

	<b>課題 ③ 中長期的な企業価値向上</b>
健康経営で解決したい経営上の課題	社員一人ひとりが個々のパフォーマンスを最大限に発揮できるようにすることで、組織の健康度の向上を実現し、結果として企業価値を高めることが経営課題である。
健康経営の実施により期待する効果	「自分の健康は自分で守る」を基本方針とし、社員の健康リテラシー向上のための施策を行うことで、当社が掲げる「三つの豊かさ」のうち「心と体の豊かさ」を実現し、結果として企業価値が向上することを期待している。

### 自社従業員(組織)の課題と目標

#### 重点課題1 ⑭ 従業員の健康問題に起因する生産性低下防止や事故発生予防に関する課題

##### 課題内容

社員の高齢化が予測されている中、社員一人ひとりのパフォーマンスの向上が重要な課題である。中でもプレゼンティーズムによる損失額は、アブセンティーズムの約18倍と試算され、さらにプレゼンティーズムの要因の1位は運動器・感覚器の障害となっており対策が急務である。

##### 目標

プレゼンティーズムの要因として運動器・感覚器の障害が一番強いと回答した人の割合

	数値	単位	年度
取組前実績値	24.9	%	2023年
現在の実績値	20.0	%	2024年
目標値	18.0	%	2030年

#### 重点課題2 ⑩ 女性特有の健康関連課題等の健康保持・増進に関する課題

##### 課題内容

女性に寄り添う企業であることから、女性特有の健康課題に関心が高いという強みを活かし、女性特有の健康課題に対する相互理解の促進、生理や更年期によるプレゼンティーズムの改善、疾病の早期発見を促す施策により女性がより活躍できる企業を目指している。

##### 目標

更年期研修理解度(Top2Box)

	数値	単位	年度
取組前実績値	-	-	-
現在の実績値	96.2	%	2024年
目標値	97.0	%	2025年

## 04 健康経営の成果

### 経営上の課題に対する健康経営の成果

健康意識の社員間格差はあるものの、各種施策を継続実施することでリピーターの増加が見られており、健康意識の底上げの効果あったと考えられる。また、運動器・感覚器を要因とするプレゼンティーズムは大きな改善が見られ、生産性向上に寄与していると考えられる。

## 03 施策・実績

### 健康経営の取り組み

#### 施策内容(重点課題1)



自身の体を理解し、セルフケアアップ!リフレッシュや生産性向上、健康リテラシー向上のための参加型施策。

#### 具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	体組成測定会
内容	体組成計を用いて体重、脂肪量、筋肉量等を測定する体組成測定会を実施
導入時期	2014年
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本社では3ヶ月に1度の定期開催。実施拠点を増やすことで参加延べ人数が前年比較で1.3倍にアップ</li> <li>定期的に開催することで、各自で次回までの目標を設定し、継続的に健康づくりに取り組むことができている。また、保健師による健康アドバイスの実施や同僚と声を掛け合って参加することによりモチベーションを維持できるように工夫している。</li> </ul>

#### 具体的な実践内容2

分類	自社組織
名称	ヘルスキーパーによるマッサージ
内容	ヘルスキーパーによるマッサージの実施とツボ講座
導入時期	2023年
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>20代~70代まで幅広い年代の社員が利用し、稼働率は70%超 施術後のパフォーマンスが向上した社員率90%</li> <li>他拠点での出張マッサージ企画も実施し、より多くの社員が体験できるよう工夫している。また、猫背・肩こり、眼精疲労の他、花粉症や風邪予防等に関する「マッサージ師のツボ講座」も配信し、健康意識を高める取り組みを実施している。</li> </ul>

#### 具体的な実践内容3

分類	外部サービス
名称	体力測定会
提供元社名	東京実業健康保険組合
内容	体力測定会と運動指導士による健康づくりの個別アドバイスの実施
導入時期	2022年度
選択理由	●価格 ●効果 ●機能・性能 ●使いやすさ ●評判
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の継続参加希望100%</li> <li>アンケートでは「これをきっかけに生活を改善し健康維持に努めたい」「専門的なアドバイスが受けられありがたい」「同僚と一緒に参加し楽しむことができた」「また開催してほしい」等のコメントが寄せられ、楽しみながら自身の体を知るきっかけづくりや社員同士の交流の場として役立っている。</li> </ul>

### 取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	健康意識の違いによる施策参加率の社員間格差 イベント系健康施策充実度のエリア間の差
今後取り組みたい施策の課題	健康への関心度があまり高くない社員への啓発活動 データドリブン健康経営の進化 グローバル視点での健康施策の構築

#### 施策内容(重点課題2)



女性起点の発想で働きやすい環境づくり!相互理解の促進、リテラシー向上と早期発見のための健康施策。

#### 具体的な実践内容1

分類	自社組織	名称	更年期研修
内容	全社員に更年期e-learning研修を実施		
導入時期	2023年		
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>e-learning受講率100% 理解度はTop2Box 96.2%</li> <li>世界メノポーズデーに合わせ、年代・性別問わず全社員を対象とすることで、基本的な知識を身につけ互いに理解し合い配慮できる職場づくりに役立っている。また、女性のみならず男性更年期についても取り上げ、チェックリストも紹介することで、早期発見・受診につなげられるような内容になるよう工夫している。</li> </ul>		

#### 具体的な実践内容2

分類	自社組織	名称	早期発見のための活動
内容	乳がん・子宮頸がん検診費用の全額会社負担と啓発活動		
導入時期	2007年		
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性社員の乳がん検診・子宮頸がん検診費用の全額会社負担</li> <li>「早期発見」の重要性を入社時から周知し、定期的に各種がん検診についての啓蒙を行っている。また、ピンクリボン活動への賛同やホルモンと体調の関係が分かる自社サービス「ソフィBe」アプリの活用を推進し、女性に寄り添う事業特性を活かして社内外で啓発活動を実施している。</li> </ul>		

#### 具体的な実践内容3

分類	外部サービス
名称	卵子凍結保管サービス
提供元社名	セルソース株式会社
内容	卵子凍結保管サービスの費用補助とセミナーの開催
導入時期	2024年
選択理由	●価格 ●機能・性能 ●実績 ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年より卵子凍結保管サービスの費用補助を開始 セミナー満足度Top2Box 96%</li> <li>多様なキャリアやライフプランの実現を支援し、選択肢の一つとして卵子凍結保管サービスの費用補助制度を開始した。性差に関わらず、心と身体を正しく理解するためのセミナーを開催することで、未来の選択肢を拡げ、安心して働き続けられるよう取組みを推進している。</li> </ul>

### データ活用事例

事例名	健康管理システムを活用した情報の利活用
内容	健康管理システムに健康診断結果、時間外データ、産業医面談結果等の情報を一元管理することで、集計・分析の効率化や 産業医判定のペーパレス化を実現している。データを活用して健康レベルを区分することで、レベルに応じた健康施策の展開に役立っている。
利用データ	健康診断、問診、休業情報、保健指導情報
利用者(ユースケース類型)	産業保健スタッフ(ユースケース1)、 管理職等(ユースケース2)